

2016年3月期 第3四半期
決算説明会資料

荏 原 (6361)

2016年2月9日



(単位：億円)

	2015年3月期 第3四半期	2016年3月期 第3四半期	増減
受注高	3,635	3,464	170
売上高	3,088	3,247	+ 158
営業利益	96	155	+ 58
経常利益	108	139	+ 30
親会社株主に帰属する 四半期純利益	50	73	+ 22

為替レート
(平均)

1ドル = 115.1円

1ドル = 120.2円

2015年3月期 第3四半期は「四半期純利益」

本資料において、特に記載のない限り「第3四半期」「3Q」は4月1日～12月31日の9ヶ月累計期間です。

1. 決算概要

2016年3月期第3四半期決算 事業セグメント別 (2/2)

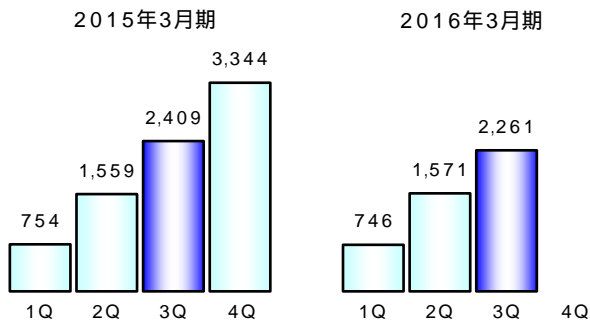
(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2015年 3月期 第3四半期	2016年 3月期 第3四半期	増減	2015年 3月期 第3四半期	2016年 3月期 第3四半期	増減	2015年 3月期 第3四半期	2016年 3月期 第3四半期	増減
風水力事業	2,409	2,261	148	2,189	2,143	45	27	29	+ 1
エンジニアリング事業	692	404	287	403	447	+ 43	30	34	+ 3
精密・電子事業	520	786	+ 265	483	643	+ 159	32	87	+ 55
その他事業調整	12	12	0	12	12	0	5	4	1
合計	3,635	3,464	170	3,088	3,247	+ 158	96	155	+ 58

風水力事業

受注

(単位：億円、各Qは累計)



【受注】

- ✓ コンプレッサ・タービン事業で顧客の投資判断遅れが継続

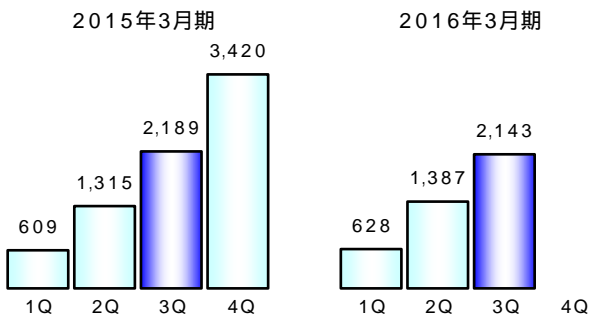
【売上】

- ✓ コンプレッサ・タービン事業で減収

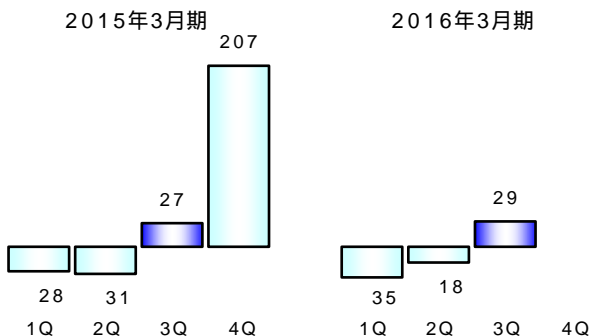
【営業利益】

- ✓ 減収効果 (-)
- ✓ サービス&サポート売上の構成比が高まる (+)
- ✓ ポンプ事業を中心に固定費の増加 (-)
- ✓ 円安効果 (+)

売上

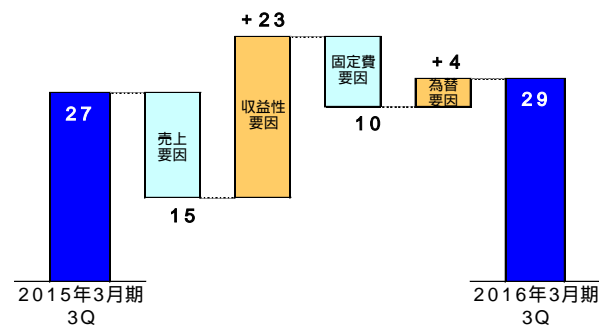


営業利益



増減要因分析

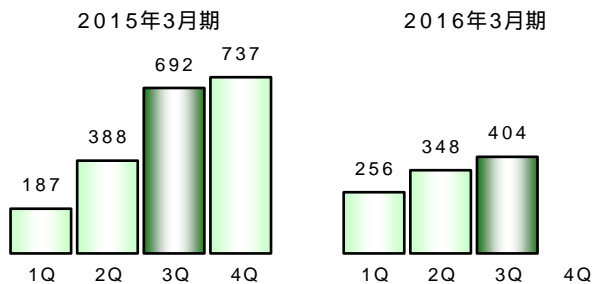
(単位：億円)



エンジニアリング事業

(単位：億円、各Qは累計)

受注



【受注】

✓ 内示も含めれば前年同期並み

【売上】

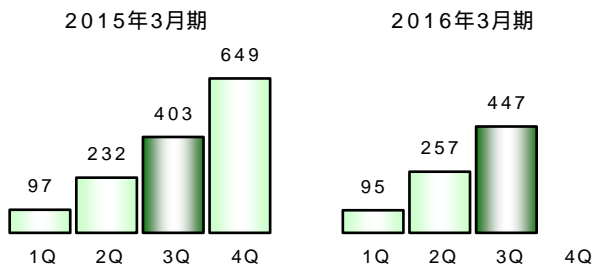
✓ 主にEPCの売上が増加

【営業利益】

✓ 増収効果 (+)

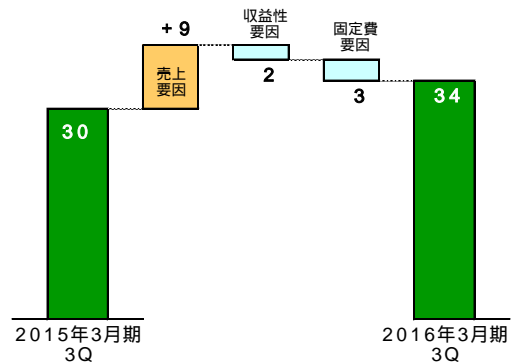
✓ 人件費を中心とした固定費の増加 (-)

売上

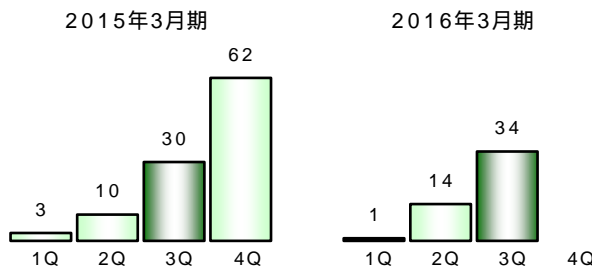


増減要因分析

(単位：億円)

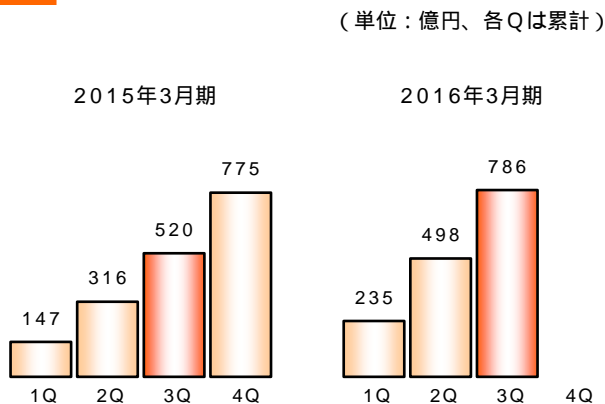


営業利益



精密・電子事業

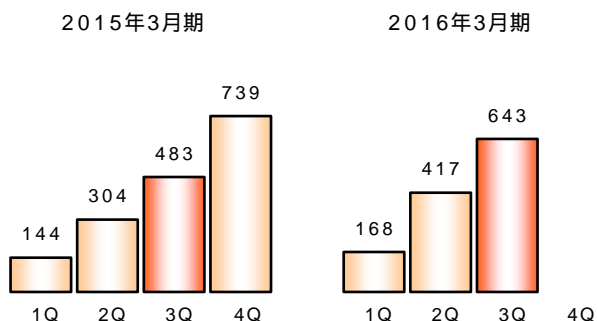
受注



【受注】

- ✓ 今期は特にCMP装置の需要が高まり、顧客が設備投資を積極的に実行
- ✓ めっき装置事業で大型受注

売上



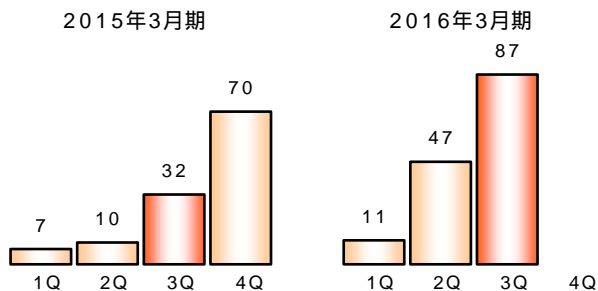
【売上】

- ✓ 特にCMP事業が上期までの受注増で売上拡大

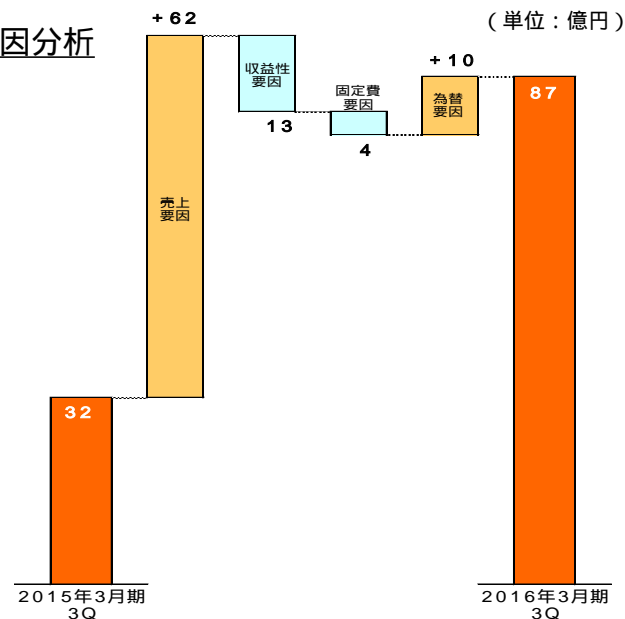
【営業利益】

- ✓ 増収効果 (+)
- ✓ 円安効果 (+)
- ✓ 人件費を中心とした固定費の増加 (-)

営業利益



増減要因分析



2. 今期の見通し

2016年3月期 業績見通し 事業セグメント別

(2/2)

(単位：億円)

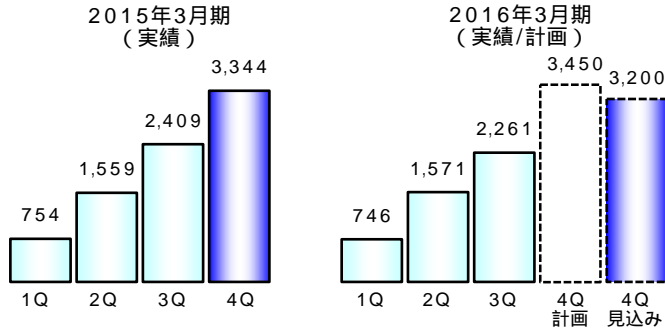
		2015年3月期 (実績) (A)	2016年3月期 (計画) (B)	2016年3月期 (見込み) (C)	増減 (対計画比) (C-B)	増減 (対前期比) (C-A)
風水力事業	受注	3,344	3,450	3,200	250	144
	売上	3,420	3,550	3,350	200	70
	営業利益	207	215	195	20	12
エンジニアリング事業	受注	737	800	800	-	+ 62
	売上	649	700	700	-	+ 50
	営業利益	62	70	70	-	+ 7
精密・電子事業	受注	775	900	1,000	+ 100	+ 224
	売上	739	800	900	+ 100	+ 160
	営業利益	70	80	100	+ 20	+ 29
その他事業 調整	受注	17	20	20	-	+ 2
	売上	17	20	20	-	+ 2
	営業利益	5	5	5	-	0
合計	受注	4,875	5,170	5,020	150	+ 144
	売上	4,826	5,070	4,970	100	+ 143
	営業利益	345	370	370	-	+ 24

風水力事業

(計画から) 受注・売上・営業利益 変更あり

受注

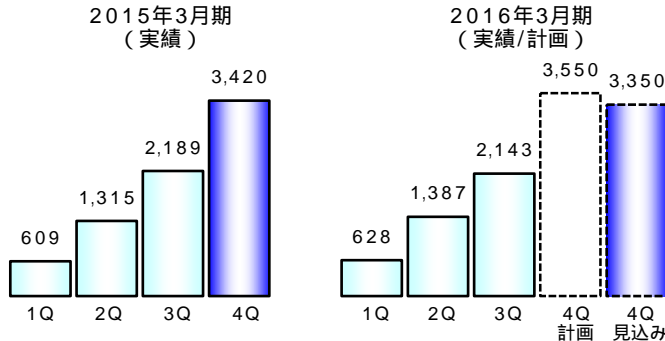
(単位：億円、各Qは累計)



【受注】

- ✓ 石油・ガス市場の設備投資が弱含んでおり
コンプレッサ・タービン事業に加えて
ポンプ事業にも影響

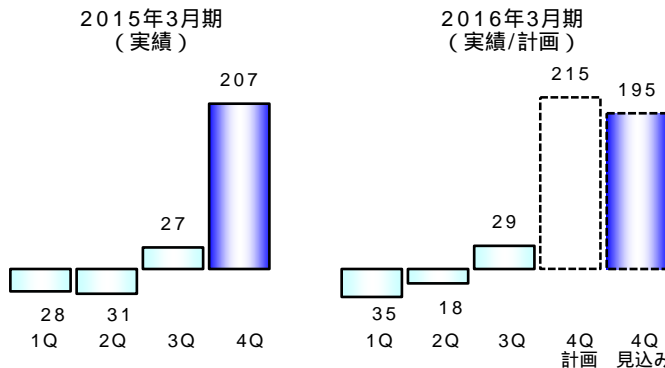
売上



【売上】

- ✓ 今期中の売上の遅れは通期で解消できず
一部は来期へ
- ✓ 受注の減速に合わせて売上也修正

営業利益



【営業利益】

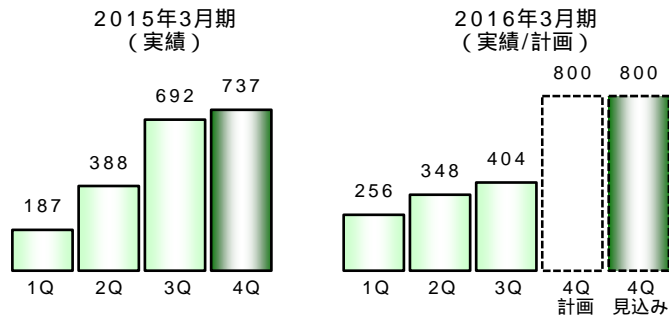
- ✓ 減収の影響を固定費見直しでカバー

エンジニアリング事業

(計画から) 変更なし

受注

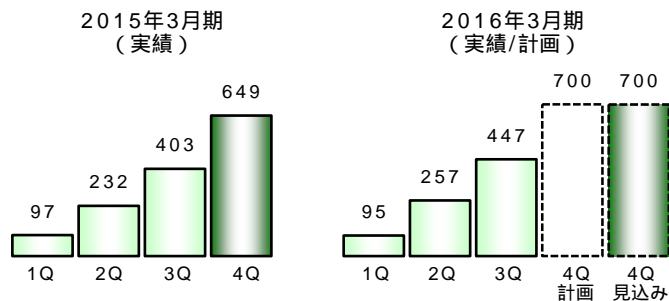
(単位：億円、各Qは累計)



【受注・売上】

- ✓ 受注は内示案件の正式受注タイミング次第だが
売上は計画通り

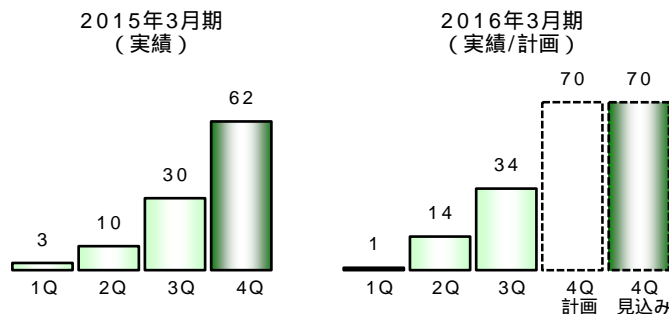
売上



【営業利益】

- ✓ O&M事業の安定した収益構造は変わらず

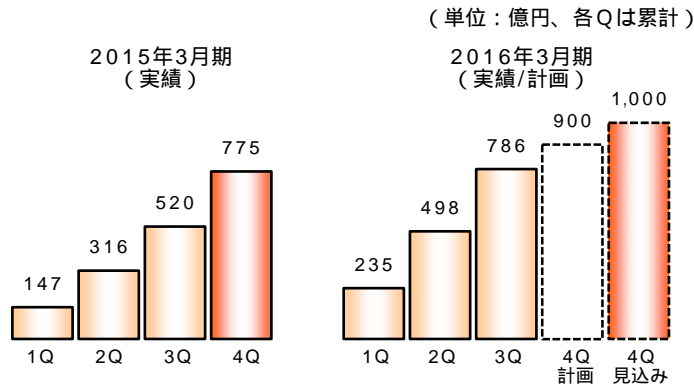
営業利益



精密・電子事業

(計画から) 受注・売上・営業利益 変更あり

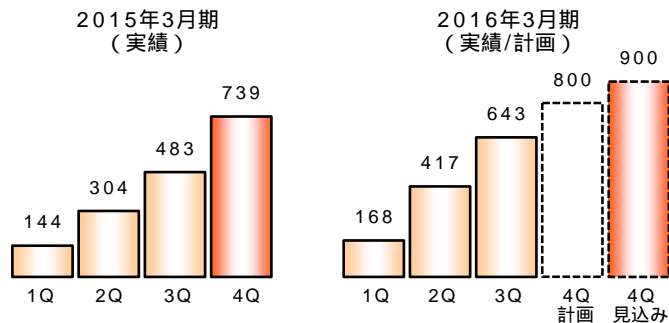
受注



【受注・売上】

✓ 顧客の旺盛な需要増を受けて上方修正

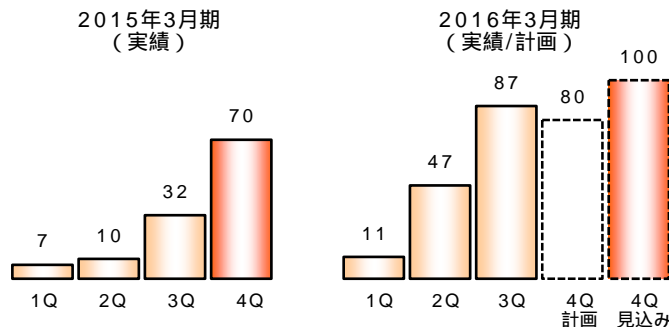
売上



【営業利益】

✓ 低採算の売上也一部発生するが
増収増益となる見込み

営業利益



受注

(単位：億円)

	通期					第3四半期		
	2015年 3月期	2016年 3月期			増減	2015年 3月期	2016年 3月期	増減
	実績	計画	見込み	実績		実績		
風水力事業								
ポンプ	1,800	1,900	1,800	100	0	1,269	1,317	+ 48
コンプレッサ・タービン	968	1,000	850	150	118	727	538	189
冷熱	363	350	350	-	13	248	254	+ 5
その他	212	200	200	-	12	164	150	13
風水力事業 計	3,344	3,450	3,200	250	144	2,409	2,261	148
エンジニアリング事業								
環境プラント	737	800	800	-	+ 62	692	404	287
エンジニアリング事業 計	737	800	800	-	+ 62	692	404	287
精密・電子事業								
コンポーネント	365	370	390	+ 20	+ 24	262	294	+ 32
CMP装置	332	450	480	+ 30	+ 147	211	373	+ 161
その他	77	80	130	+ 50	+ 52	46	118	+ 71
精密・電子事業 計	775	900	1,000	+ 100	+ 224	520	786	+ 265
その他	17	20	20	-	+ 2	12	12	0
その他 計	17	20	20	-	+ 2	12	12	0
合計	4,875	5,170	5,020	150	+ 144	3,635	3,464	170

売上

(単位：億円)

	通期					第3四半期		
	2015年 3月期	2016年 3月期			増減	2015年 3月期	2016年 3月期	増減
	実績	計画	見込み	実績		実績		
風水力事業								
ポンプ	1,805	1,900	1,800	100	5	1,086	1,150	+ 64
コンプレッサ・タービン	1,068	1,100	1,000	100	68	748	664	83
冷熱	348	350	350	-	+ 1	233	203	30
その他	198	200	200	-	+ 1	120	125	+ 4
風水力事業 計	3,420	3,550	3,350	200	70	2,189	2,143	45
エンジニアリング事業								
環境プラント	649	700	700	-	+ 50	403	447	+ 43
エンジニアリング事業 計	649	700	700	-	+ 50	403	447	+ 43
精密・電子事業								
コンポーネント	372	380	390	+ 10	+ 17	253	290	+ 36
CMP装置	305	340	410	+ 70	+ 104	196	305	+ 108
その他	61	80	100	+ 20	+ 38	34	48	+ 14
精密・電子事業 計	739	800	900	+ 100	+ 160	483	643	+ 159
その他	17	20	20	-	+ 2	12	12	0
その他 計	17	20	20	-	+ 2	12	12	0
合計	4,826	5,070	4,970	100	+ 143	3,088	3,247	+ 158

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。